



**UR都市機構、板橋区、東京都健康長寿医療センターが連携協定締結  
～高島平地域のウェルフェアの発展に向けて～**

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）、東京都板橋区（以下「板橋区」）、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター（以下「医療センター」）は、高島平地域のウェルフェア機能を強化し、高島平団地等の持続的な価値の向上を目指すため、令和5年9月14日に連携協定を締結しました。

3者は高島平地域や高島平団地（以下「高島平地域等」）が抱える課題への対応だけでなく、地域の人々のいきいきとした生活を支えるため、都市におけるライフスタイルの価値を高めながら、ウェルフェアの充実と戦略的なまちづくりを進めることで、高島平地域等の価値向上を目指します。



右から、医療センター理事長 鳥羽研二、板橋区長 坂本健、  
UR都市機構東京北・埼玉地域本部長 内島敏之

**【お問い合わせ先】**

UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

高島平再生事務所企画調整課 （電話）03-6907-0979

総務部総務課（広報担当） （電話）03-5323-2555

## 1. 締結者

- ・ 独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 東京北・埼玉地域本部長  
内島 敏之（うちじま としゆき）
- ・ 東京都板橋区長  
坂本 健（さかもと たけし）
- ・ 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 理事長  
鳥羽 研二（とば けんじ）

## 2. 締結の背景

UR都市機構と板橋区は、高島平地域等の持続的発展が可能なまちづくりを推進するため、令和4年3月30日に「高島平地域の連鎖的都市再生の推進に係る基本合意」（以下「基本合意」）を締結しました。

両者は、基本合意に基づき、板橋区所有地の活用、UR都市機構が所有する全国最大規模の高島平団地の団地再生、持続的な地域価値の向上に資するエリアマネジメント、民間事業者との連携体制の構築等を共同で検討しています。

医療センターは高島平団地内に研究拠点を運営しています。基本合意を進めるうえで、3者は高島平地域等におけるウェルフェアを始めとした諸課題の解決、魅力ある地域づくり、団地再生等に向けた取り組みを協働で推進することが、子どもから高齢者まで元気に楽しく暮らせるまちの実現、基本合意に基づく連鎖的都市再生の効果の増大や地域全域への効果波及、高島平地域等の持続的な価値の向上が図れると判断し、本協定の締結に至りました。

○板橋区とUR都市機構が連鎖的都市再生の協働に基本合意（UR都市機構ホームページ）  
[https://www.ur-net.go.jp/east/press/hndcds00000048pi-att/220330\\_itabashi\\_takashimadaira.pdf](https://www.ur-net.go.jp/east/press/hndcds00000048pi-att/220330_itabashi_takashimadaira.pdf)

## 3. 連携事項

- (1) 地域における高齢者支援、認知症ケア、多世代交流及び多文化共生等に資する活動等の地域支援及び都市空間の整備・活用に関すること
- (2) 前号に関わる地域及び団地の課題の収集及び解決に関すること
- (3) 共生社会を実現するための研究に関すること
- (4) 前各号の成果を活用した地域の活性化、都市空間の整備・活用及びサービスの向上に関すること
- (5) まちづくりの情報発信及び普及啓発に関すること

<本件が取り組む SDG s >



UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>

